



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東
コード番号 6882 URL <https://www.sansha.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山内 得志
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員 経営企画部 部長 （氏名）丸山 博之 TEL 06-6321-0321
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,841	7.9	129	—	113	—	51	—
2026年3月期第1四半期	5,413	△9.4	△97	—	△67	—	△120	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 267百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △277百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	3.84	—
2026年3月期第1四半期	△9.06	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	31,773	24,789	78.0	1,862.44
2026年3月期	32,724	24,925	76.2	1,872.60

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 24,789百万円 2026年3月期 24,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	10.00	—	30.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	28,000	5.1	1,300	△6.2	1,300	14.3	910	138.7	68.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,950,000株	2026年3月期	14,950,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,639,522株	2026年3月期	1,639,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,310,478株	2026年3月期1Q	13,299,978株

（注）期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が以下のとおり含まれております。

2026年3月期：112,500株 2027年3月期1Q：112,500株

また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2026年3月期1Q：123,000株 2027年3月期1Q：112,500株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国・地域の金融政策や地政学的リスクの継続、中国経済の回復の遅れなどにより、先行き不透明な状況が続きました。また、為替相場や資源・エネルギー価格の変動が企業収益に影響を及ぼしました。一方で、AIの進展に伴い半導体やデータセンターにかかる旺盛な設備投資を捉えて、大幅な収益改善が認められる企業が増えてまいりました。

当社グループを取り巻く事業環境では、AI・データセンター関連需要の拡大を背景に在庫調整局面であった半導体の市況も回復してまいりました。一方、中国市場では需要回復の遅れが継続するなど、分野や地域によって差がみられました。また、原材料・部材価格の高騰から、生産部門において収支面で悪化要因となる課題が浮き彫りになりました。

このような状況のなか、業績面では、前年度後半から半導体事業、電源機器事業ともに受注は回復傾向にあり、今年度に入ってから堅調に推移しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高58億4千1百万円（前年同期比7.9%増加）、営業利益1億2千9百万円（前年同期は9千7百万円の損失）、経常利益1億1千3百万円（前年同期は6千7百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千1百万円（前年同期は1億2千万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(a) 半導体事業

当事業におきましては、顧客の在庫調整が概ね終息し、需要回復へと転じました。販売面では、主力のパワーモジュールをはじめディスクリット、チップの売上が大幅に伸びました。当セグメント全体の売上高は、18億2千6百万円（前年同期比25.8%増加）となりました。

セグメント利益は増収による効果があったものの、材料費の高騰や外注加工費の増加により原価が上昇し、価格転嫁をタイムリーに行えなかったため限界利益率が低下し、さらに人件費増加を主因とする固定費の増加により、1億2千2百万円の損失（前年同期は9千9百万円の損失）となりました。

今後は、旺盛な需要に対応する生産体制の構築と価格転嫁による利益改善に努めてまいります。

(b) 電源機器事業

当事業におきましては、クロムめっきを施した鋼板（ティンフリースチール）用の整流器や銅箔用の電源などの需要に対応し、一般産業用電源が大幅に伸びたことに加え、主力の小型の表面処理用電源が堅調に推移いたしました。また、メンテナンス・サービス分野でも引き続き前期を上回る販売実績となりました。受注面ではデータセンターの拡大を背景に、高密度基板の金属表面処理分野の受注が伸びております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は40億1千4百万円（前年同期比1.3%増加）となりました。セグメント利益は増収による利益影響に加え、一品受注案件の採算改善により限界利益を確保できたこと、更に下期販売に向けて在庫を積み増したことから2億5千1百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

今後も、顧客ニーズに品質・納期の両面でお応えしていけるよう努めてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ9億5千万円減少し、317億7千3百万円となりました。これは主に電子記録債権が1億9千6百万円、商品及び製品が6億9百万円増加したものの、売掛金が20億3千2百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ8億1千5百万円減少し、69億8千3百万円となりました。これは主に短期借入金が6億円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億3千5百万円減少し、247億8千9百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が1億7千6百万円増加したものの、利益剰余金が3億5千1百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,768	6,924
受取手形	343	261
売掛金	6,913	4,881
電子記録債権	1,286	1,483
商品及び製品	3,492	4,102
仕掛品	2,020	2,182
原材料及び貯蔵品	2,669	2,851
その他	514	513
貸倒引当金	△34	△69
流動資産合計	23,974	23,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,518	1,480
機械装置及び運搬具（純額）	1,177	1,365
土地	2,256	2,256
リース資産（純額）	468	441
建設仮勘定	1,064	791
その他（純額）	199	188
有形固定資産合計	6,686	6,524
無形固定資産		
のれん	3	2
その他	453	423
無形固定資産合計	457	425
投資その他の資産		
投資有価証券	1	1
繰延税金資産	49	63
退職給付に係る資産	1,428	1,500
その他	126	127
投資その他の資産合計	1,605	1,691
固定資産合計	8,749	8,642
資産合計	32,724	31,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,193	1,164
電子記録債務	568	703
短期借入金	2,200	1,600
未払金	565	391
未払費用	732	824
未払法人税等	441	86
契約負債	123	264
賞与引当金	711	422
製品保証引当金	36	33
受注損失引当金	94	192
その他	501	660
流動負債合計	7,169	6,342
固定負債		
リース債務	334	315
繰延税金負債	10	11
役員株式報酬引当金	50	50
退職給付に係る負債	58	63
持分法適用に伴う負債	124	150
その他	49	49
固定負債合計	629	640
負債合計	7,798	6,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,755	2,755
利益剰余金	18,237	17,885
自己株式	△1,583	△1,583
株主資本合計	22,184	21,832
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,278	2,454
退職給付に係る調整累計額	462	502
その他の包括利益累計額合計	2,740	2,957
純資産合計	24,925	24,789
負債純資産合計	32,724	31,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,413	5,841
売上原価	4,253	4,352
売上総利益	1,160	1,489
販売費及び一般管理費	1,258	1,360
営業利益又は営業損失(△)	△97	129
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	2	0
為替差益	20	—
受取賃貸料	3	4
デリバティブ評価益	—	22
受取保険金	26	—
助成金収入	25	—
その他	11	13
営業外収益合計	96	48
営業外費用		
支払利息	14	13
持分法による投資損失	30	25
デリバティブ評価損	21	—
為替差損	—	24
その他	0	0
営業外費用合計	66	63
経常利益又は経常損失(△)	△67	113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67	113
法人税、住民税及び事業税	47	63
法人税等調整額	5	△0
法人税等合計	53	62
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120	51
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△120	51

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120	51
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△173	176
退職給付に係る調整額	16	39
その他の包括利益合計	△156	216
四半期包括利益	△277	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277	267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	253百万円	243百万円
のれんの償却額	1百万円	1百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	1,451	3,962	5,413	—	5,413
外部顧客への売上高	1,451	3,962	5,413	—	5,413
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,451	3,962	5,413	—	5,413
セグメント利益又は損失 (△)	△99	2	△97	—	△97

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	1,826	4,014	5,841	—	5,841
外部顧客への売上高	1,826	4,014	5,841	—	5,841
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,826	4,014	5,841	—	5,841
セグメント利益又は損失 (△)	△122	251	129	—	129

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(測定方法の変更)

当社のセグメント利益につきまして、従来は共通部門の経費の配賦を月次の売上高により按分しておりましたが、当期より通期の売上高で按分する方法に変更いたしました。変更に至った理由は、毎月の売上変動が大きく、変更後の按分方法がより適切に月次及び四半期の利益を表すものと判断したためです。

当該変更を前第1四半期連結累計期間に反映させた場合、セグメント利益は半導体事業セグメントで11百万円増加し、電源機器セグメントで11百万円減少します。なお、当該変更による「四半期連結損益計算書計上額」への影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。